

5 漁業災害補償関係勘定

貸借対照表  
(平成30年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
I 流動資産		I 流動負債	
現金及び預金	4,087	リース債務(短期)	0
有価証券	920	引当金	
その他の流動資産	1	賞与引当金	1
流動資産合計	5,008	その他の流動負債	0
		流動負債合計	1
II 固定資産		II 固定負債	
1 有形固定資産		リース債務(長期)	0
建物	1	引当金	
減価償却累計額	△ 1	退職給付引当金	22
その他の有形固定資産	2	固定負債合計	22
減価償却累計額	△ 1	負債合計	23
有形固定資産合計	1	<b>(純資産の部)</b>	
2 無形固定資産	0	I 資本金	
3 投資その他の資産		政府出資金	2,860
投資有価証券	1,000	地方公共団体出資金	1,438
敷金・保証金	1	民間出資金	1,523
投資その他の資産合計	1,001	資本金合計	5,821
固定資産合計	1,001	II 利益剰余金	
資産合計	6,009	前中期目標期間繰越積立金	135
		積立金	30
		当期末処分利益	-
		(うち当期総利益)	(-)
		利益剰余金合計	165
		純資産合計	5,986
		負債純資産合計	6,009

損益計算書

(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
経常費用		経常収益	
一般管理費		事業収入	
人件費	9	貸付事業収入	
直接業務費	0	貸付金利息	-
管理業務費	5	事業収入合計	-
賞与引当金繰入	1	退職給付引当金戻入	2
減価償却費	0	財務収益	
一般管理費合計	16	受取利息	0
財務費用	0	有価証券利息	6
経常費用合計	16	財務収益合計	6
		雑益	-
		経常収益合計	8
		経常損失	8
臨時損失			
固定資産除却損	0		
臨時損失合計	0		
		当期純損失	8
		前中期目標期間繰越積立金取崩額	8
当期総利益	-		

1. 貸借対照表

(注) 貸借対照表及び損益計算書の説明における金額の次の( )内は、28年度からの増減を示す(以下同じ)。

- 平成29年度末における資産総額は60億9百万円(13百万円減)である。  
主な内訳は、現金及び預金が40億87百万円(20億67百万円増)、有価証券が9億20百万円(20億80百万円減)、投資有価証券が10億円(0.1百万円増)である。
- 負債総額は23百万円(5百万円減)である。  
主な内訳は、退職給付引当金22百万円(5百万円減)である。
- 純資産総額は59億86百万円(8百万円減)である。  
主な内訳は、政府及び都道府県等からの出資金58億21百万円(増減なし)、利益剰余金1億65百万円(8百万円減)である。

2. 損益計算書

- 平成29年度の経常費用は16百万円(0.2百万円増)、経常収益は8百万円(2百万円減)で、この結果、当期純損失は8百万円となった(損失の2百万円減)。  
これについては、前中期目標期間繰越積立金を同額取り崩して整理する。
- この損失が減少となった主な要因は、退職給付引当金が前年度0.5百万円の繰入であったのに対し、本年度は2百万円の戻入となったこと等による。